



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

平成 26年 10月 8日(水)

国土交通省 関東地方整備局

港湾空港部

記者発表資料

～国際コンテナ戦略港湾・京浜港～

「埼玉県荷主意見交換会」を開催しました

関東地方整備局では、平成 23 年度から京浜港の主な背後圏である関東圏内で県別に国際海上コンテナ貨物の荷主を対象に、荷主との港湾政策に関する情報共有、同一地域の荷主間における情報共有、企業間ネットワークの構築、コンテナマッチング等の京浜港物流高度化行動計画に基づいた物流効率化に向けた取り組みに関する情報交換を目的として、荷主意見交換会を開催しています。

平成 26 年 9 月 26 日(金) 埼玉県さいたま市の埼玉県知事公館において、「第 4 回埼玉県荷主意見交換会」を開催しました。

本意見交換会は、埼玉県の荷主企業と京浜港の港湾関係機関により、国際コンテナ物流の課題や効率化等について、意見交換し、相互に今後の国際物流の効率化につなげることを目的として開催しました。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ・物流専門紙・その他専門紙

問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室

室長 小澤 敬二 (こざわ けいじ)

補佐 藤井 久 (ふじい ひさし)

電話 045-211-7437 FAX 045-211-0204

「第4回埼玉県荷主意見交換会」の開催結果

■開催日時 平成26年9月26日(金) 14:00～16:00

■開催場所 埼玉県知事公館

■参加荷主企業 (※五十音順)

曙ブレーキ工業株式会社

クラリオン株式会社

株式会社ニトリ

本田技研工業株式会社

レンゴー株式会社

株式会社ワコム

■議事

(1) 国際コンテナ戦略港湾政策と京浜港における取組

(2) 物流高度化・効率化の取組

(3) 埼玉県の物流効率化に向けた取組

(4) 各企業の国際物流動向に関する意見交換

■主な意見

- ・企業では、コンテナ積載能率の向上、コンテナマッチングの推進など、常に国際物流の効率化を追求している。
- ・コンテナマッチングを推進したいと考えているが、なかなか上手く成立しない。行政も積極的に取り組んでほしい。
- ・埼玉県では県内でのコンテナマッチングを促進するために、「埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会」を設立する。
- ・京浜港の混雑緩和のためハード・ソフト両面の対策を急いでほしい。
- ・港の混雑により貨物が予定通り入らないなど問題が生じることがある。早朝ゲートオープンの実施の継続、開始時間の前倒し、オープン時間の延長をしてほしい。
- ・非現実的ではあるが、埼玉に港があったらいいと思う(混雑を含め、港と内陸部との間に課題がある)。
- ・インランドデポは物流効率化に寄与すると期待できるが、運営面が厳しいのが現状。
- ・国際コンテナ戦略港湾により京浜三港が一体となって競争力強化しようという取組をもっと具体的に進めてほしい

■会議状況



【荷主意見交換会の模様】



【意見交換会後の個別意見交換の状況】